会報 幸わせ
第189号
発行者
社会福祉法人
長野市身体障害者福祉協会
理事長　小林和夫
〒380-0904
長野市大字鶴賀276-10
（長野市障害者福祉センター内）
電話　228－3014
ファクシミリ　226－6263

第50回 長野市身体障害者福祉大会
盛大に開催 理事長表彰11名が受賞

10月6日長野市障害者福祉センターにおいて、会員70名が参加し開催しました。

午前の部の研修会は、切り絵作家の柳沢京子先生に「きりえができるまで－草も木も二百年をもひとっ飛び－」と題して講演をしていただきました。「切り絵」がもつ表現の豊かさも感じられた講演でした。

午後の式典では、寺沢さゆり市議会副議長はじめ6名の来賓にご臨席を賜りました。

理事長表彰・来賓祝辞・前回大会決議事項の経過報告が行われ、その後、大会決議・大会宣言が原案どおり決定されました。

内容は、次のとおりです。

理事長表彰受賞者

（順不同・敬称略）

☆本協会の役員（支部役員を含む）として、8年以上在籍し、顕著な功績があると認める者　（5名）

大内重光（古牧支部）
佃邦芳（松代支部）
飯島日出子（松代支部）
細井一億（川中島支部）
吉岡良典（本部）

☆8年以上の会員で、自立更生の努力が顕著であり、他の模範となる者（4級以上）　（3名）

小林清吾（大豆島支部）
楢本富子（若穂支部）
池田直子（大岡支部）

☆重度（3級以上）の身体障害者を助けるなど、他の模範となる者　（3名）

石川梅子（古牧支部）
宮澤貞男（古牧支部）
原山貞子（本部）

大会スローガン

◎「社会モデル」理念の啓発に努めよう
◎民間事業者に対する「合理的配慮」の義務化を促そう
◎障害者雇用促進施策の適切な位置付けと適正な運用を働きかけよう

大会決議

一　各種障害者施策、とりわけ、「社会モデル」であるノーマライゼーションについて、単に事務的な対応に終始することなく、共生社会実現を目的とする施策制定の趣旨に沿った啓発と推進を強く要望します。

一　災害時において、避難弱者となる障害者への支援体制の充実を強く要望する。なお、現在、長野市が進めている防災行政無線デジタル化整備においても、障害者視点に立った支援機能を、実際の使用者の意見を反映する中で、積極的に取り入れるよう要望します。

一　福祉医療給付金について、加齢や障害認定の変更に伴う適用制度の切替等において、制度間に隙間が生じ利用者に不利益が及ぶことのない仕組みの構築を要望します。

一　築後36年が経過している長野市障害福祉センターについて、計画的改修を要望します。

以上、決議します。

大会宣言

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした「障害者差別解消法」が平成28年に施行されてから2年が経過した本年、障害者雇用施策において、主導すべき立場である中央省庁における不正が発覚し、関連施策の整備は到達点ではないことが、今回明白となりました。

「障害者差別解消法」においては、差別解消に向けた一人ひとりの「合理的配慮」の意思表示や、共生社会実現への取組みについての注視等々の自発的な行動も求められています。

これからも、障害者福祉を取り巻く環境の変化に対応すべく、各種計画の進捗状況や課題等を確認しながら、障害者関連施策が制定の趣旨に沿って着実に実行されるよう注視し、長野県身体障害者福祉協会や日本身体障害者団体連合会などと連携して関係機関等への働きかけを続ける必要があります。

障害の有無にかかわらず、個人の尊厳を尊重し認め合い、等しく暮らすことができる共生社会の実現に向け、私たちは一致団結して行動していくことを宣言します。

理事長表彰を受賞して

川中島支部　細井　一億

この度は私のような者が、栄えある理事長表彰を頂き、誠に有難うございました。私は24歳の時に怪我をして、約2年の間に治療・リハビリなどを経て、本格的に26歳の時に職場復帰しました。しかし、障害を持つ者にとって、職場の理解・仕事など大変な事でした。

支部へは27歳頃に入会し会員になりましたが、仕事が忙しく、また、地域の役員やその他の役員をしていて、支部活動へはなかなか参加できませんでした。60歳頃になり、ようやく参加できるようになりました。

現在は69歳で高齢者に近づき、障害や腰痛などを持っての活動は辛いものですが、支部の皆さんの協力のお蔭で何とか頑張っています。

年間行事が沢山ありますが、会員の皆様には積極的に参加して頂き、励まし合い・飲んで食べて和気あいあいと一時を過ごせればと思い役員一同行事等の計画を立てています。

この受賞を期に微力ですが、川中島支部の為にこれからも一会員として協力していきたいと思っております。

講演を聴講して

裾花支部　五味美穂子

あの柳沢京子さんは、とても親しい語り口で、映像に沿って話を進め、私達は忽ち引き込まれました。

当人が意図するより先、新聞社や放送局等々の計らいで、又企業やJR等の協力で、県・国内外での展示会、翻訳本の出版等、作品が世に出ていく様が紹介されます。

かの有名な柳沢京子さんは、こうして生まれたのか!!と納得。出来たのは良かったのだけど、・・・『講演要旨』は？と、理屈っぽく意地悪っぽく思いはじめた。

そんな思いを見透かすように、こども病院でのこと。一茶の俳句のことに話が進んだ。

一つ一つの作品の後には、種々なドラマや想いが有るんだ!! それが、彼女の切り絵の情感となって生きているのだ。『いろいろな所でいろいろな人に助けられ・・・』最後におっしゃった言葉が印象に残ります。

支部だより

戸隠支部長　渡邉　周運

戸隠支部は、現在会員17名です。7年前には80名を超える会員がいたのですが、高齢化が進み事業等への参加が困難な人も増えてきたため、支部に所属するかどうかの意思確認をした結果、大幅に会員が減りました。

しかし、この7年間に7名の協力員の人を加えて、次のような事業を続けてまいりました。

年1回の総会と共に、年数回の昼食・親睦会を行っています。協力員の人が作ってくれた料理や弁当などをいただいた後、軽スポーツやゲームを楽しんでいます。

また、一泊二日の「きぼうの旅」を毎年実施し、今年は新たに日帰り温泉旅行も実施しました。宿の一室にみんなが集って行うゲームやおしゃべりが好評です。

会員の高齢化に伴い、市協会開催の事業にはなかなか参加できない状況で申し訳ございませんが、支部の様子を聞いて新たに入会する人も出てきているので、支部事業の充実を図っていきたいと思っています。

この会報は、共同募金からの助成で発行しています。

第69回長野県身体障害者福祉大会

9月6日に「駒ヶ根市文化会館」において開催されました。

県内各地から６００名以上が参加し、当協会からは24名の皆さんに参加をいただきました。

当協会員で表彰を受けた方々は、次のとおりです。（敬称略）

≪知事表彰≫

☆社会福祉表彰（障がい者福祉分野）

山岸（やまぎし）泰（やすし）（大豆島支部）

≪理事長表彰≫

☆10年以上の会員で自立更生顕著で他の模範である者

早野（はやの）昌子（まさこ）（本部）

知事表彰を受賞して

大豆島支部　山岸　泰

この度、社会福祉功労者として栄誉ある知事表彰を賜り、誠に身に余る光栄で厚くお礼申しあげます。

私は、障害者の自立と社会参加の推進、またスポーツを通じた障害者の心身と健康の維持増進等を図りたく、障害者スポーツ等に携わってきました。

それらの中で、特に心に残る喜びと思い出を・・・

「長野パラリンピック冬季競技大会」や「スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野」の運営に協力とお手伝いができ、また、「長野車いすマラソン大会」では、開催の立ち上げに当初から携わらせていただき、第11回大会まで副会長を務めることができました。

そして、「全国障害者スポーツ大会」（平成25年、東京）では、長野県選手団のキャプテンとして出場し、フライングディスク競技で「銀メダル」を獲得することができました。

また、長野市民病院の売店を消費者ニーズに合わせコンビニ化し、「ローソン長野市民病院店」として平成19年4月にオープンすることができました。・・・

しかしながら、これらの活動は私一人で出来るものではありません。行政や多くの役員、一緒に活動する仲間や家族の温かいご理解とご支援があったからこそ成し得たものです。お世話になった皆様方に厚くお礼と感謝を申し上げます。

最後になりましたが、今後の障害者福祉の益々の進展をご祈念申しあげ、お礼の挨拶とさせていただきます。

（当協会理事長、長野市身体障害者スポーツ協会会長を歴任）

縁側から語りつぐ

「縁が和リレー」

リハビリに同情は無用

浅川支部　高見澤徳三

「やー高見澤君。俺はなぁ、ワイシャツの右のボタンははめられないが、それ以外は何でも出来るぞ。」と言われ疑念を抱く。再訪時に見た光景は、左肩に僅かに残った腕で札束を抑え数える姿に疑念は敬服に一変した。右腕一本で会社を名実共に担っている地域で有名な辣腕専務である。その後転勤により音信不通となり、障害に関し無関心と無縁が続く。

己が障害を負い、仲間との交流のなかで先輩の言動が頭に浮かぶ。血のにじむような苦難のリハビリで障害を克服し、社会の各界に貢献している諸先輩が多くいることに頭が下がる。

支部会議の帰路、会員のふらつき歩行に同情し送り届けたご夫人の一言。「今日の往復徒歩は、主人の適度のリハビリで参加させたのに。」の言葉に返す言葉は見つからない。

仲間にどこまで手出し、口出し、寄り添えの難しさと「真のボランティアとは？」の問いに、未だ回答は見つからず勉強の連続である。

バス停のバリアフリー化について

当協会では、「長野市身体障害者福祉大会」における「大会決議」について、毎年、市長及び市議会議長へ陳情しています。

長年にわたり、「バス車両と停留所の段差解消」を要望してきましたが、ようやく長野駅東口の「ＡＢＮ前」、「七瀬」バス停について、バリアフリー化の工事が行われました。

このことは、会員の皆さんの要望を集約し、組織として取り組んできた成果の表れです。

七瀬バス停（北側）（新型バスベイ）

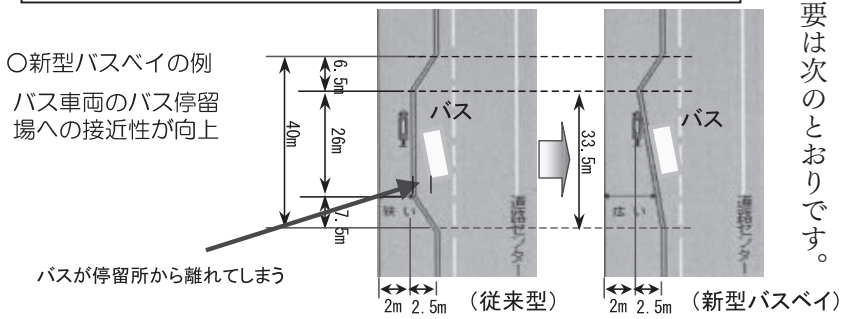
（注）停留所の路面に**車椅子マーク**が標示される予定です。

バス停は、多くの箇所に設置され、また、道路の管理は国・県・市町村と異なります。会員の皆さんの協力・期待の声がなくてはバリアフリー化は進みません。みなさんの声をお聞かせください。

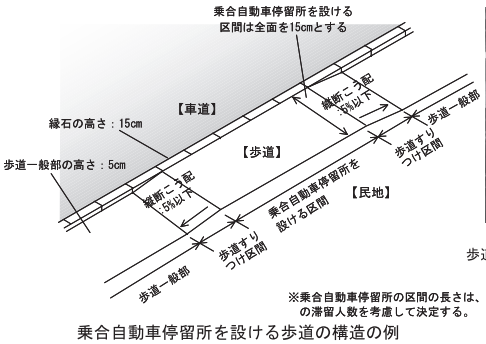
バス停（乗合自動車停留所）のバリアフリー化については、「道路の移動円滑化整備ガイドライン」（策定：国土交通省）において、規定されています。

その概要は次のとおりです。

バスが停留所から離れずにぴったり停車することは、車いす使用者、高齢者にとって重要であり、そのための工夫について例示



停留所の部分の高さを15cm（一般部は5cm）とすることで、高齢者、身体障害者等のバスへの乗降を容易とすることを規定



乗合自動車停留所を設ける歩道の構造の例

ノンステップバスの例
歩道部が高いと乗り降りが容易

料理教室のご案内

青年部長　須藤今朝信

男性でもいざという時に役立つように8月3日、青年部7名でカレーライス、サラダ作りなどを実習しました。事務局職員に試食して頂き、大変美味しいと好評でした。

次回は、オハギなどの料理実習を予定しています。青年部員及び男性協会員の皆様の大勢のご参加をお待ちしています。

▽平成31年1月25日（金）10時から、障害者福祉センター調理室。参加費500円。参加希望者は、平成31年1月18日（金）までに事務局へ。

訃報

前理事長 古澤明雄様は、9月18日ご逝去されました。生前のご功績に敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。享年76歳

編集後記

異常な暑さの夏が過ぎ、紅葉の季節を迎えました。

会員減少に歯止めがかからない現状ですが、様々なご意見等をいただき、少しでも協会が活性化し前進できることを会員全員で考えましょう。

編集委員長　丸山　勝

行事予定

◆健康教室（第２回）
日時・場所：11/8(木) 10:00　障害者福祉センター
内容：「ノルディックダンス」
講師：フランセーズ悠　坂井真由美　先生
申込み：支部長へ（本部会員：10/31までに事務局へ）

◆クリスマスの集い（障害者福祉センター利用団体との共催）
日時・場所：12/9(日) 9:30　障害者福祉センター

◆新春のつどい
日時・場所：1/10(木) 10:30　メルパルク長野
会費：3,000円
申込み：支部長へ（本部会員：12/13までに事務局へ）